

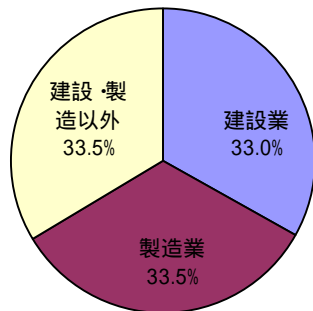
## 平成 21 年度第 4 回経営者アンケート調査結果について

しずおか信用金庫はこのたび営業担当者を介し、中小企業に対しアンケート調査を実施しました。

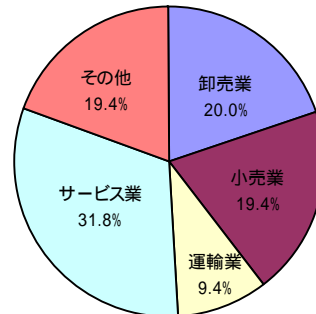
### 1. 調査の概要

- ( 1 ) 調 査 期 間：平成 22 年 3 月 4 日 ( 木 ) ~ 3 月 12 日 ( 金 )
- ( 2 ) 調査対象企業：当金庫取引先 507 社 ( 静岡県中部・東部地区中小企業 )
- ( 3 ) 回 答 率：100%
- ( 4 ) 調 査 方 法：各店舗の営業担当者が代表者様等と直接面談

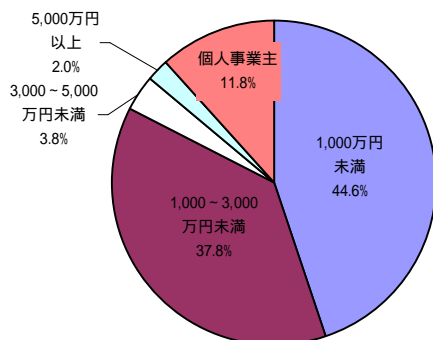
業 種



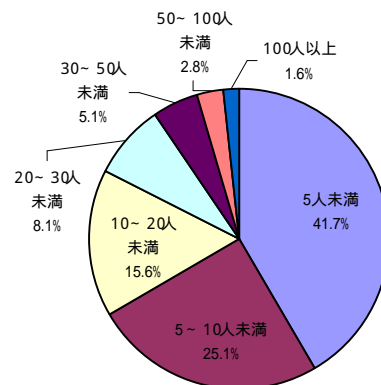
建設・製造以外の業種内訳



資 本 金



従業員数

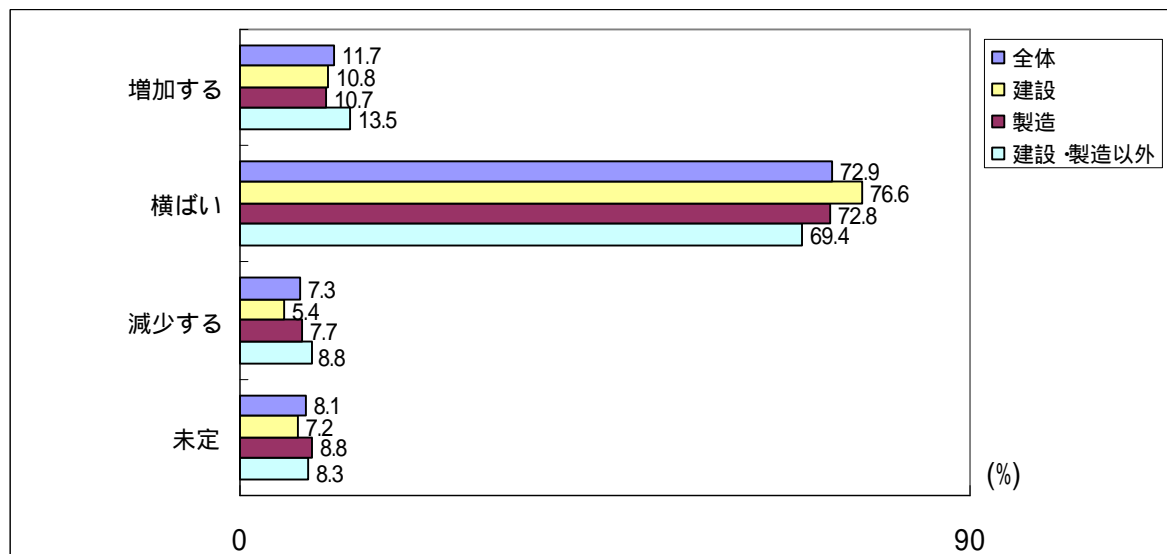


平成 22 年度～23 年度の人員計画について  
(新規学卒者の採用状況を中心に)

1 貴社の平成 22 年度従業員数は平成 21 年度と比較してどうなる予定ですか。  
従業員はパート・派遣社員も含む（アルバイトは除く）

<全体・業種別>

【回答数 506 先】< 建設業 :167 製造業 :169 建設 製造以外の業種 :170 >



全体及び業種ともにほぼ同様な傾向となり、「横ばい」が 7 割程度を占め圧倒的に多い。21 年度第 1 回アンケート調査（21 年 5～6 月に実施：以下前回アンケート）では、自社の従業員数について「適正である」と回答した企業が 7 割程度あり、中小企業では総じてここ 1 年余りの中で従業員数を増減する企業は少ないようである。但し「増加する」の回答が 10%程度、「減少する」の回答が 7%程度と、「増加する」が「減少する」に比して多い。前回アンケートでも「不足」が「過剰」を上回っており、結果を反映する形となった。

なお、調査員からの情報によると、「業況の回復が見られる企業でも先行きの不透明感から人員の増加に慎重になっている」、「横ばいと回答する企業でも必要最低限の従業員数で対応している」といった声が聞かれ、従業員数から捉える景況感は依然として厳しい状況にあるようです。

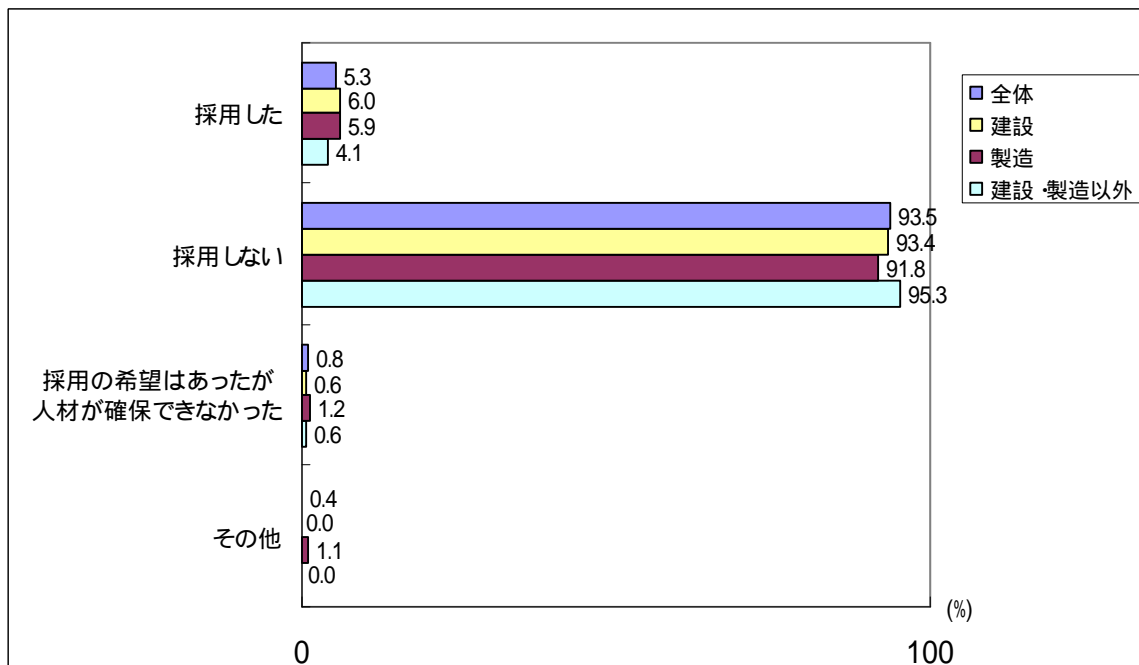
< 経 営 者 の 声 >

- ・ 人員はなかなか増やすことは出来ない。一旦増やすと減らすのに苦労する。
- ・ 新規採用を行う余裕はない。
- ・ 必要な時に必要な人員を効率的に確保する。従って派遣社員を採用している。
- ・ 人員を増加したいが先行きが不透明であり、景気の回復状況を見ながら行う。

## 2. 平成 22 年 4 月入社の新規学卒者は採用しましたか。

<全体・業種別>

【回答数 507 先】< 建設業 :167 製造業 :170 建設・製造以外の業種 :170 >



Q1の回答結果からも当然ながら全体及び業種ともに「採用しない」が9割程度を占め圧倒的に多く、「採用した」は5%程度に留まった。従業員規模別に見ると「10人未満」(従業員数別回答割合の66.8%を占める)の回答のうち「採用する」は11%、「採用しない」が69.9%と小規模企業においては「採用しない」という特性が見られた。また、少数ではあるが「採用の希望があったが人材が確保できなかった」の回答もあり、中小企業特有の悩みも見られた。

厚生労働省によると大学生の就職内定率が80.0%(2月1日現在)、高校生の就職内定率が81.1%(1月末現在)と非常に厳しい状況にあり、アンケート結果も反映する形となった。特に中小企業では必要最低人数での対応を行う企業が多く、新規学卒者を新たに採用し育てていくという余裕はなく、即戦力社員として経験を有する人材を採用する傾向が強いようである。

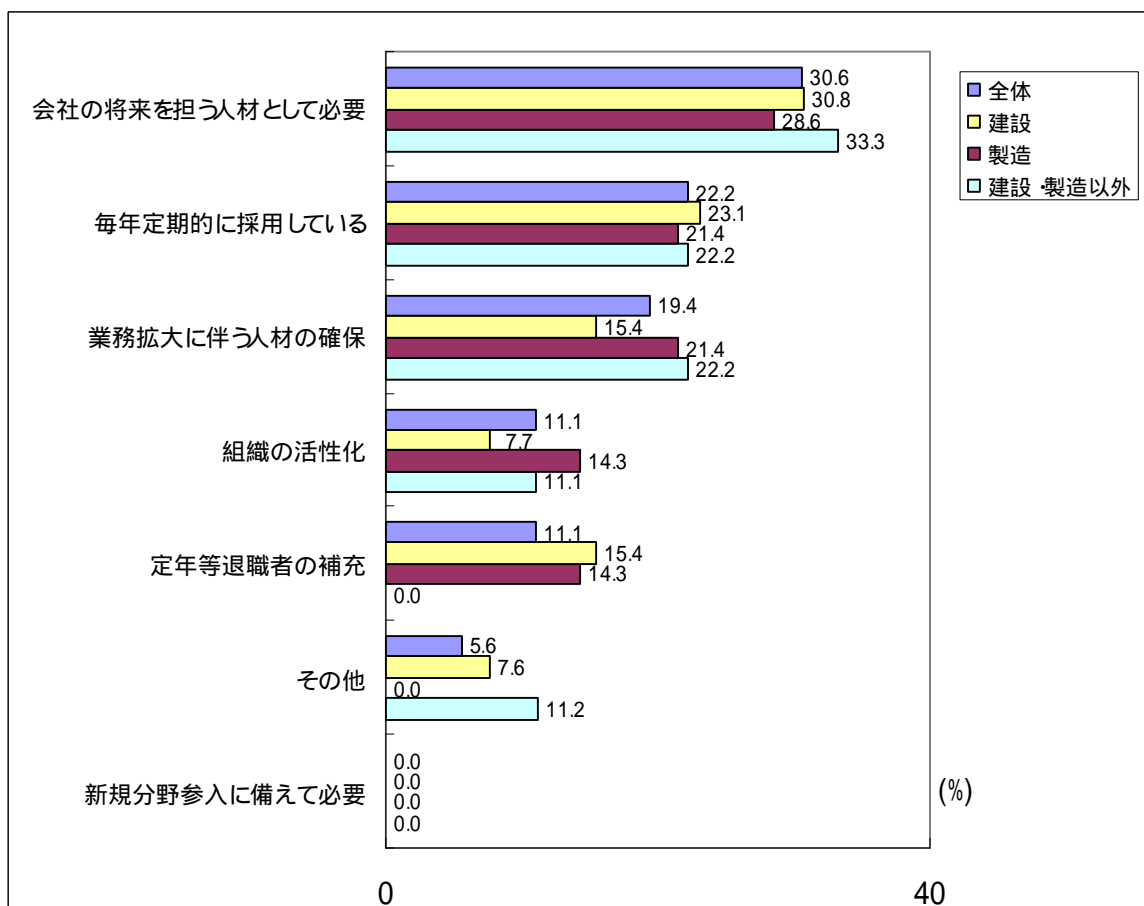
### < 経営者の声 >

- ・ 新規学卒者採用後の人材育成は先行投資の側面があり、費用対効果を考えると景気低迷下ではなかなか難しい。
- ・ 大卒初任給の平均が高く、中小企業の大卒採用は困難。
- ・ 採用してもすぐに辞めてしまう。
- ・ 内定率の低さを考えると、優秀な人材が埋もれていることが考えられ新規採用を行うチャンスと認識しているが、金銭的な余裕がなく躊躇してしまう。

3. Q2で「採用した」と回答された方に、採用した理由は次のうちどれですか。  
 (複数回答可・いくつでも)

<全体・業種別>

【回答数:36先】<建設業:13 製造業:14 建設・製造以外の業種:9>



全体では「会社の将来を担う人材として必要」(30.6%)が最も多く、「毎年定期的に採用している」(22.2%)、「業務拡大に伴う人材の確保」(19.4%)と続いた。業種別の特徴として、建設業では「定年等退職者の補充」が全体に比して3ポイント程度多い。製造業では「業務拡大に伴う人材の確保」が全体に比して4ポイント少なく、他業種に比べ業況の回復が遅いことがうかがわれる。また、建設・製造以外の業種では「定年等退職者の補充」と回答した企業はなかった。

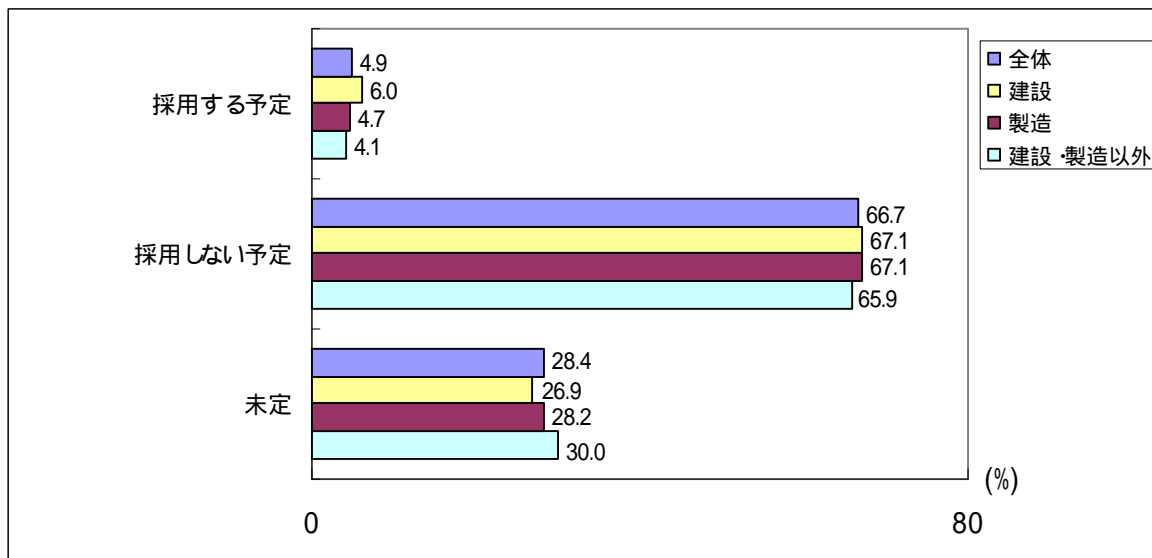
**<新規学卒者への期待>**

経営者にとっては新規学卒者に対する会社の将来を担う人材としての期待は大きいですが、一方で入社後の離職率も年々増加傾向にあるようです。これから就活を行う学生の皆様にとっては、入社を目的とすることなく、入社後への夢と希望を抱きながら、活動に取り組むことが必要ではないかと考えます。

#### 4. 平成23年度(23年4月入社)は新規学卒者を採用する予定ですか。

<全体・業種別>

【回答数 507 先】<建設業 :167 製造業 :170 建設・製造以外の業種 :170>



全体及び業種ともにほぼ同様な傾向となり、「採用しない予定」が6割強を占め圧倒的に多い。こちらもQ2同様、従業員規模別で見た場合、「10人未満」(従業員数別回答割合の66.8%を占める)の回答のうち「採用する予定」は36%、「採用しない予定」が64%と小規模企業の特徴が見られた。また全体では「未定」とする回答も3割程度を占めており、必ずしも「採用しない」ありきではないようである。Q1でも述べたが、人材の採用は自社の業況に左右される傾向が見られるという点を考慮した場合、「未定」の回答には自社の業況が底を打ち、景況の回復状況によっては採用を検討したいとする企業が多数含まれているようである。

#### <メモ>

##### 【新規学卒者の採用を希望する事業者の方】

静岡県のホームページ「しずおか就職情報」をご存知ですか？

静岡県産業部就業支援局雇用推進室では、静岡県内の企業や事業所向けに人材採用に向けた企業情報の登録制度を設けています。企業の魅力や採用情報などの登録を無料で行うことができ、登録情報はインターネットで広く公開します。

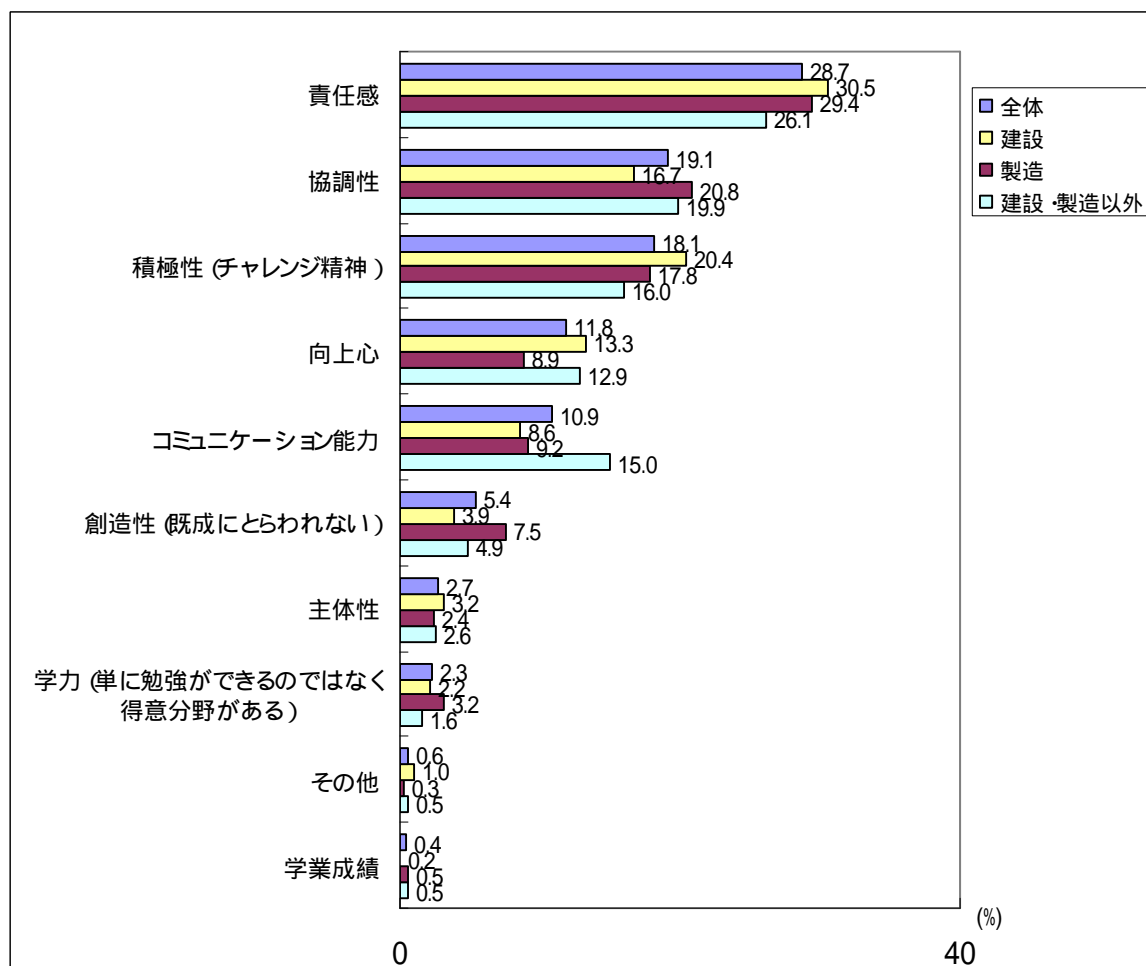
中小企業においてはIT活用の一環として自社のホームページを作成している事業者が増加してきていますが、まだホームページを作成していない事業者も多くいます。一方で就活を行う学生にとってパソコン(インターネット)の活用は当たり前となっており、自社をアピールしたり、情報を発信する場として活用されてみてはいかがでしょうか。詳細は静岡県のホームページをご覧になるか、静岡県産業部就業支援局雇用推進室(電話:054-221-2825)までお問い合わせください。

## 5. 採用を前提として採用時に重視する点は次のうちどれですか。

(複数回答可・3つまで)

<全体・業種別>

【回答数 1,165 先】<建設業 407 製造業 371 建設・製造以外の業種 387>



経営者毎に考え方が違い回答が分散するのではと思われたが、項目毎に同様の傾向が見られた。企業が必要とする人材に大きな違いはないようである。

全体では「責任感」(28.7%)が最も多く、以下「協調性」(19.1%)、「積極性(チャレンジ精神)」(18.1%)、「向上心」(11.8%)、「コミュニケーション能力」(10.9%)と続いた。業種別の特徴として建設・製造以外の業種で「コミュニケーション能力」が全体に比して4ポイント程度多い。

学力や学業成績といった学生の本分は当然のことであり、それ以上に社会人として、また企業人として『責任感を持ち、周りとの協調を大切にするという自覚』や『若者らしく積極的にチャレンジし向上心を持って取り組むという姿勢』、また『社内や外部とのコミュニケーション能力』を求めているようである。

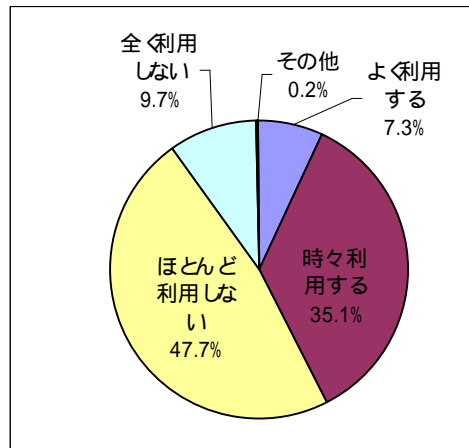
とかく「就活」として就職に係る情報誌やマニュアル本を頼りにする傾向が見られるが、こういった経営者の生の声に耳を傾け、自分を磨いて欲しいと感じます。

# トピック 商店街の利用について

トピックに関しては経営者ではなく個人の立場でご回答いただきました

## 1. 商店街は利用されますか。

【回答数 507 先】

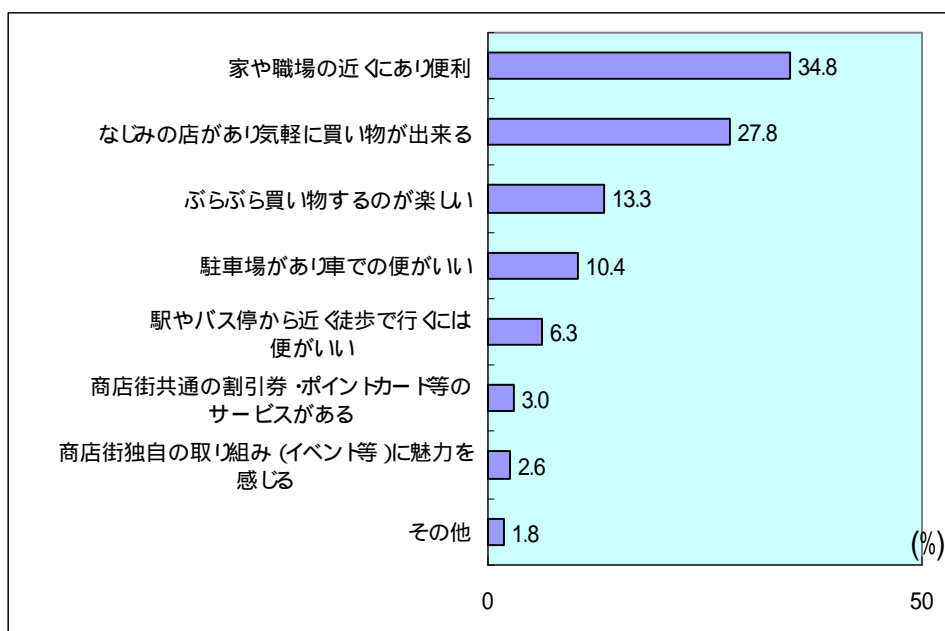


「ほとんど利用しない・全く利用しない」合わせて「利用しない」57.4%が「よく利用する・時々利用する」を合わせた「利用する」42.4%を上回り、半数以上の方が利用しない状況にあった。調査員によると「利用しない」理由として「近隣に商店街がない」、「駐車場がない」、「大型ショッピングセンターを利用する」、「シャッターが閉まっている店舗が多く活気がない」、「一度に欲しいものが揃わない」といった意見が聞かれた。

## 2. Q1で「よく利用する」、「時々利用する」と回答された方に、利用する理由は次のうちどれですか。

(複数回答可・いくつでも)

【回答数 270 先】



「家や職場の近くにあり便利」(34.8%)が最も多く、「なじみの店があり気軽に買い物が出来る」(27.8%)、「ぶらぶら買い物するのが楽しい」(13.3%)、「駐車場があり車での方がいい」(10.4%)と続いた。Q1の「利用しない理由」と対象的な項目が上位を占めた。どちらかという『便利さ』や『気軽さ』が重視されているようである。

また、よく利用する商店街名を質問したところ以下の商店街名が挙がった。

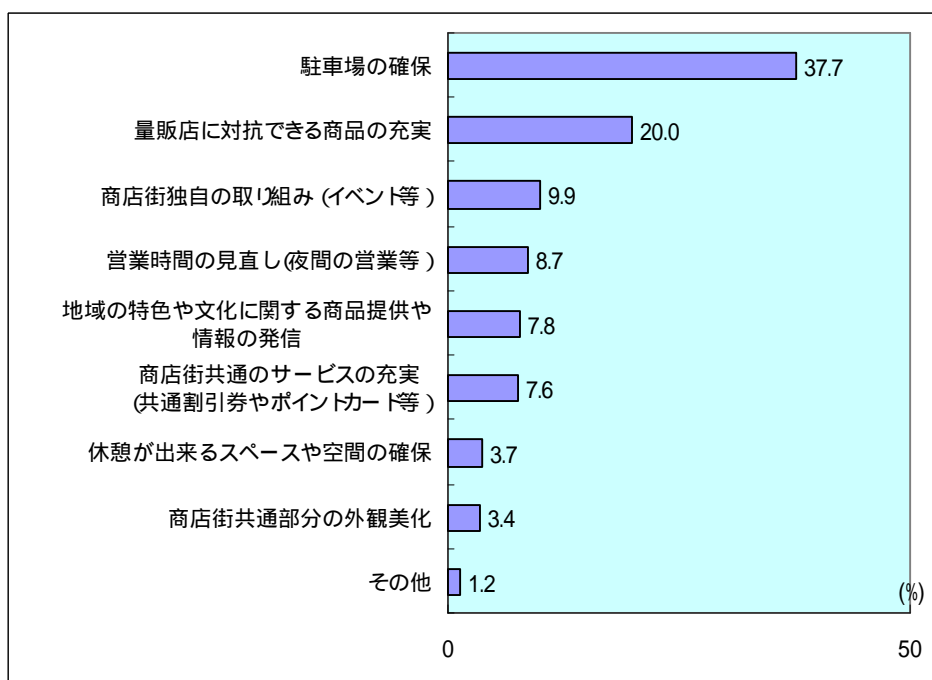
(五十音順)

葵町	安西5丁目	入江	駅南銀座	太田町
長田東	小鹿	呉服町	駒形通り	七間町
清水	清水駅前	清水銀座	白子	すずらん通り
瀬名中央	浅間通り	鷹匠	茶町	伝馬町
東新田	長谷通り	羽鳥	富士駅前	曲金
横田町	吉原			

### 3. 商店街に必要なことは次のうちどれですか。

(複数回答可・いくつでも)

【回答数 431 先】



こちらQ1・Q2の回答結果に見られる「駐車場の確保」が37.7%と最も多い。「量販店に対抗できる商品の充実」(20.0%)や「営業時間の見直し」(8.7%)も含め、大型ショッピングセンターやコンビニエンスストアに見られる利便性を必要とする回答が多い。

また、回答肢以外にも多くの意見を頂いたが、キーワードで見ると「地域とのふれあい」、「お客様の足を止める工夫」、「業種の充実」、「個性的な飲食部門の再構築」、「インターネットの活用」、「高齢者を絡めた街づくり」、「新店舗の出店」といった声が聞かれた。

## アンケート調査結果に基づく〈当金庫の支援〉

経営者アンケートでは21年度第1回調査時においても「雇用」に関するテーマを取り上げました。当時はリーマンショック後の派遣切りや雇用調整がクローズアップされていましたが、今回の調査時には加えて「新規学卒者の就職未決定者が過去になく多い状況」が見られ、「雇用」に関しては依然として非常に厳しい状況が続いています。政府による景気回復策と併せた緊急雇用対策の効果が期待されるようですが、当然ながら雇用に直結する各々の企業の業績回復が望まれるところです。

しずおか信用金庫では金融機関の立場から資金面での支援は当然のことながら、事業者の経営面での支援（マッチング、経営相談、セミナーの開催等）を行っております。お気軽に支店担当者までご相談ください。

また、トピックでは「商店街」をテーマに商店街の利用状況について回答いただきました。「商店街離れ」が言われてから久しく、既に様々な取組みが行われているところです。改めて利用状況について見てみると、『利用しない』の回答が『利用する』を上回り、その理由として「車社会や利便性の追求といったライフスタイルの定着」、「大型ショッピングセンター（以下：SC）との競合」等が挙がりました。但し商店街という『面』で捉えた場合、利用しないと回答しても商店街にある個々のお店は利用するという声も多く聞かれ、『点』で捉えた場合に「離れ」という言葉は当てはまらないような気がします。消費の低迷から百貨店の撤退やSCの苦戦も伝えられる中、地域に根ざす商店街には百貨店やSCにない『街（まち）』としての役割があるのではないかと思います。様々な意見を全て反映することは難しいですが、今回のアンケート結果を参考にさせて頂ければと考えます。

なお、しずおか信用金庫では商店街活性化支援に向けた取り組みとして、21年12月に藤枝市及び藤枝商工会議所と「商店街活性化支援事業に係る相互協定に関する協定」を、22年2月に静岡市と「商店街空き店舗活用推進に係る相互協力に関する協定書」を締結しました。地域の事業者の皆様による地元商店街の活性化等（空き店舗を活用した新たな取組み等）に資するため、『企業サポートローン「地域活力プラン」』の取り扱いを開始し、金融商品を通じて地元商店街の活性化に向けた取り組みを応援しています。

今後も地元商店街の活性化に向け、地域行政機関等との相互関係をさらに強化した活動を展開してまいります。

なお、『企業サポートローン「地域活力プラン」』についての詳細は支店担当者までお問い合わせください。

本件に関する問合せ先

しずおか信用金庫業務部

電話：054(247)1153 FAX：054(209)1845